

麻疹（はしか）の流行に伴う注意事項

現在複数の大学で麻疹（はしか）の流行が報道されています。本学でも本郷、駒場、柏キャンパスで6名の学生が麻疹と診断されています。麻疹は非常に感染力の強いウイルス性疾患です。学内での蔓延を防ぐために、次のことを徹底してください。

（1）これまで麻疹にかかったことがない場合

- 発熱（37.5度以上）を伴う咳や鼻水の症状
- 一旦熱が下がった後に口の中に赤い縁取りのある白い発疹（斑）が現れる
- 発症から数日後に発熱とともに多数現れる皮膚の紅い発疹（手足から胸や腹部に広がる）

などの症状があるときには、**登校を見合わせて**、もよりの医療機関を受診してください。

もし**麻疹と診断されたら**、**登校せずに**各キャンパスの保健センター窓口（下記）に電話でご連絡ください。

（2）症状のない方

- 既にかかったことがあるか、ワクチン接種をうけたことがあるか、母子手帳やご家族に**確認してください**。わからない方には、抗体検査による確認や予防のためワクチン接種が有効です。

（3）麻疹にかかった人と接触した場合

- 保健センター各支所（下記）にお電話でご相談ください。
- 過去に予防接種を受けていない方や麻疹に罹ったことがない方でも、**接触後3日以内であればワクチンによる予防が有効**です。

東京大学保健センター連絡先

本郷支所 健康管理室 03-5841-2580
駒場支所 健康管理室 03-5454-6180
柏支所 内科 04-7136-3040

詳しい情報とワクチン接種情報

保健センターホームページ <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/health/>
各リンク先をご参照ください。